

パワーコンディショナの運転と停止

自立運転を開始するには

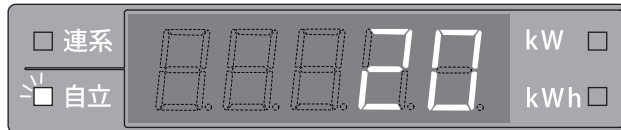
本機能は、停電が発生した際に、お客様が操作する必要があります。
自立運転を毎日行う場合は、毎日「運転切替スイッチ」の再操作が必要です。
そのままでは出力しません。

1. 運転切替スイッチを「自立」にする。[※] 自立ランプが点滅します。

[※] 製品底面右側カバーのビス(2本)を外し、「運転切替スイッチ」の「自立←停止→連系」を「自立」にする。

! 操作後は必ずカバーを元の状態にもどしてください。
機器内部に水が侵入し、故障の原因となります。

2. 表示部に“STAAL”が表示され、 カウントダウンを開始します。



000000 は自立運転開始までの時間(秒)を表します。

1秒ごとカウントダウンし、終了後運転を開始します。

3. 運転開始後、自立ランプが点灯します。



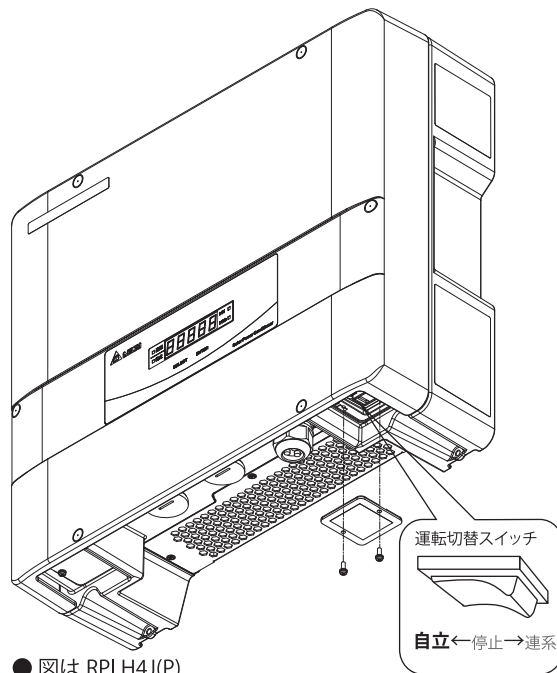
4. 自立運転コンセント[※]に電気製品の電源 プラグを差し込みます。



000000 は消費電力1.0kVAを表します。

[※] パワーコンディショナ底面右側カバー内専用コンセント及び自立運転出力端子台に接続された屋内停電用コンセント(別途設置工事を行った場合)

[※] 設置の際に表示設定を屋外(Out)にした場合、表示部が約20分後に消灯しますが、機能は働いています。



● 図は RPI H4J(P)

5. 日没後自動的に運転停止します。 表示部が消え、自立ランプが消灯します。



- 電気製品が接続されている場合、日没前もしくは日射が弱い時に“SF48”が表示されますが、故障ではありません。
- 翌日も自立運転を行う場合には、パワーコンディショナの「運転切替スイッチ」の「自立←停止→連系」を「停止」にし、再度「自立」にする。
- 自立運転を毎日行う場合は、同じ操作を毎日行ってください。そのままでは“W20”(太陽電池不足電圧検出)が表示され運転出来ません。

ご注意

- 太陽電池容量と日射条件により、使用できる電力が小さくなる場合があります。
- 停電から復旧した場合、お早めに連系運転に切り替えてください。

! 接続する機器の電力の最大が 1.5kVA 以内 (AC100V 最大 15A 以内) になるようにしてください。
接続する機器の電力が 1.5kVA を超えた場合、または日射が弱く発電電力が使用機器の消費電力を下回る場合、表示部に“SF48”の点検コードが表示され、自立ランプが点滅します。
自立切替スイッチを一旦に「停止」にし、接続する機器を減らすか、日射が安定するまで待つて、再度「自立」にしてください。